

# 北海道浮魚ニュース

平成 27(2015)年度 5 号

2015 年 6 月 29 日

道総研 釧路水産試験場

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.htm>

## ◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

### 調査期間

2015 年 6 月 17 日～6 月 26 日

### 調査海域および調査点

道東～三陸沖合太平洋海域  
(北緯 39 度 00 分～42 度 30 分、  
東経 143 度 00 分～147 度 30 分  
: 親潮系冷水域および黒潮系暖水域)における 8 調査点(図 1)。

### 調査方法

10 種類の日合 (22・25mm :  
30 間切り各 1 反、29・37mm :  
30 間切り各 4 反、48mm : 60 間  
切り 2 反、55・63・72・82mm :  
60 間切り各 1 反、182mm : 60 間  
切り 1 5 反) の流し網を用いた  
漁獲試験。

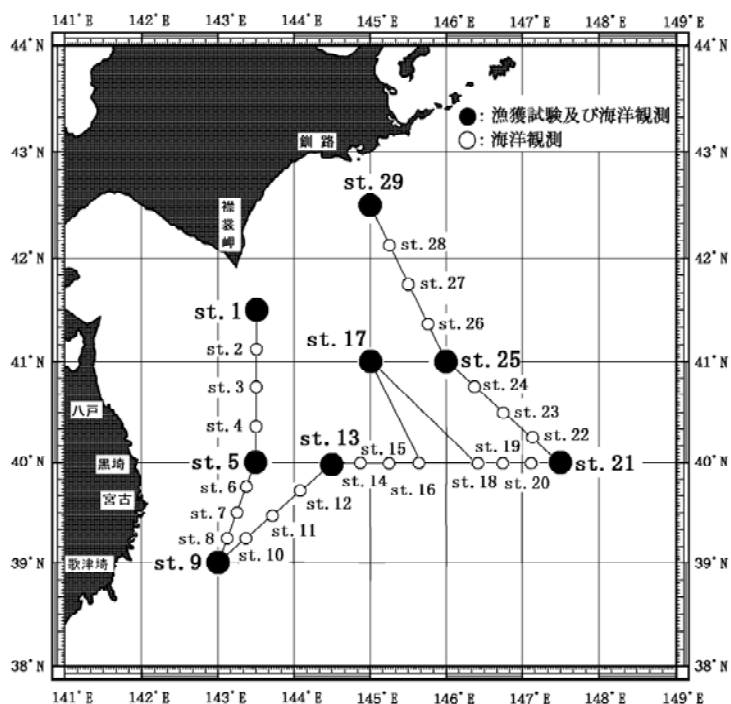


図1 漁獲試験調査点

### 調査結果

- ① 漁獲試験を行った 8 調査点の表面水温は 12.2～20.5℃ (前年 : 12.3～22.4℃)、50m 層は 2.7～14.5℃ (前年 : 1.2～15.1℃)、100m 層水温は 1.7～12.2℃ (前年 : 1.3～12.9℃) でした (表 1)。

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	5	9	13	17	21	25	29	合計
表面水温(°C)	14.1	16.0	20.5	16.6	16.3	18.2	17.4	12.2	
50m水温(°C)	2.7	6.3	14.5	3.5	3.5	13.9	13.5	4.9	
100m水温(°C)	1.7	3.9	12.2	3.9	4.5	8.4	9.3	3.6	
サバ類	467	131	4	313	324	171	58	228	1,696
マイワシ	6,588	908	0	3,514	1,075	2	6	3,032	15,125
カタクチイワシ	26	154	0	24	2	0	0	0	206
サンマ	0	7	0	59	0	0	0	0	66
スルメイカ	1	0	0	1	5	10	2	0	19
アカイカ	0	0	14	0	0	0	0	0	14

② 調査点別の魚種別漁獲尾数（表1）および流し網調査1回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図2、4、6、8）ならびに漁獲試験で採集された漁獲物の体長組成（図3、5、7、9）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

8調査点にて、合計1,696尾漁獲されました(表1)。

CPUEは212.0尾/回で、前年の585.6尾/回を下回り1994年以降では4番目に高い値を示しました(図2)。

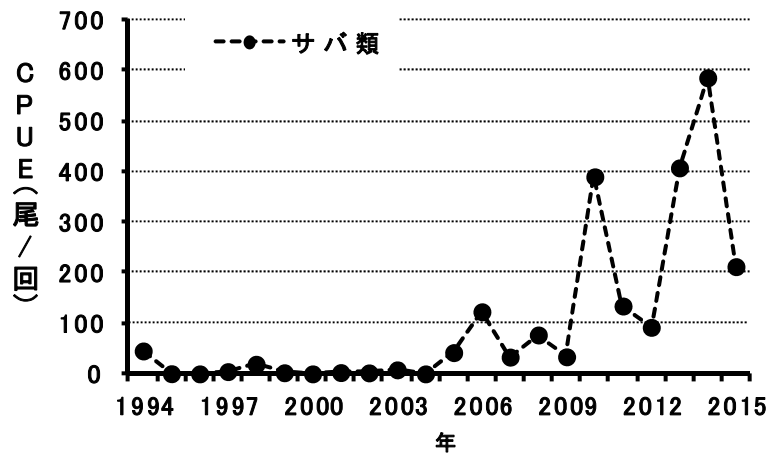


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化

魚体は尾叉長21~43cm台で、26cm前後の個体が主体(図3)で、前年(主体:23cm前後、30cm前後)よりも、30cm以上の大型が少ない傾向にありました。

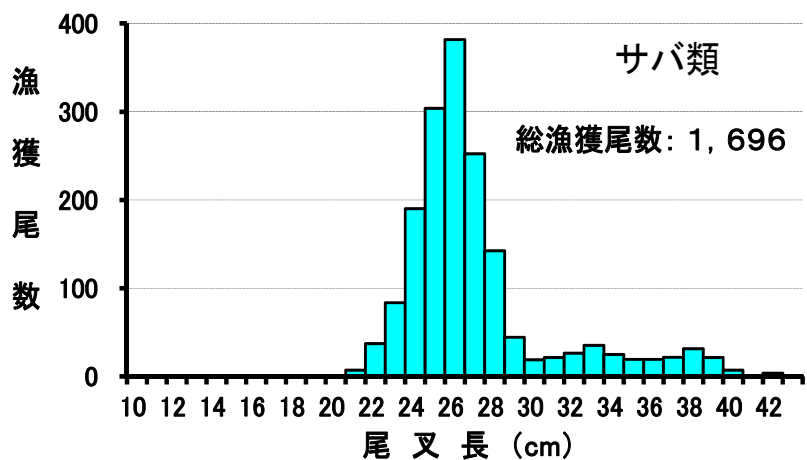


図3 サバ類の漁獲物体長組成

### ・マイワシ

7 調査点にて、合計 15,125 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 1,890.6 尾/回で、前年の 828.4 尾/回を上回り、1994 年以降では 2013 年に次ぐ高い値を示しました (図 4)。

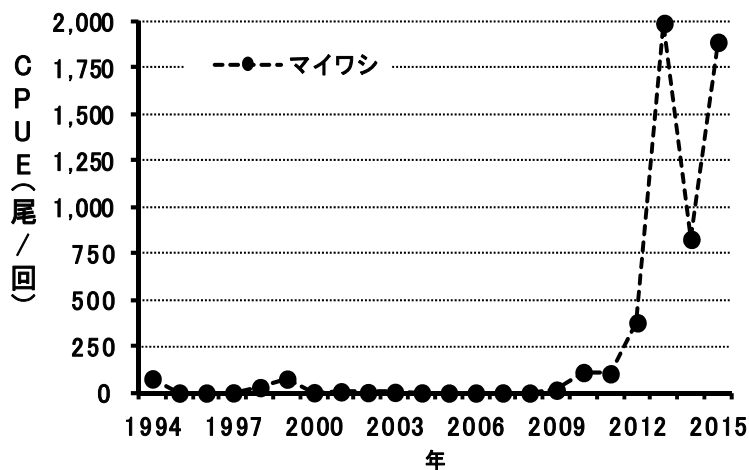


図4 調査1回当たり漁獲尾数 (CPUE) 経年変化

魚体は体長 14.0～23.0cm 台にあり、16.0cm 台の個体が主体で、次いで 21.0cm 前後 (図 5) で、前年 (主体: 20.5cm 台) よりも小型でした。

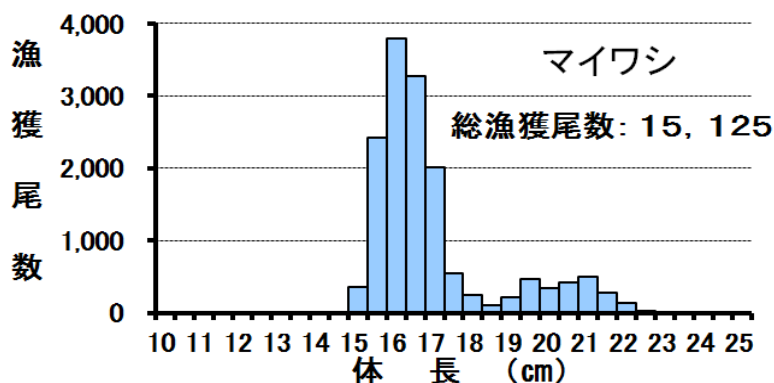


図5 マイワシの漁獲物体長組成

### ・カタクチイワシ

4 調査点にて、合計 206 尾漁獲されました (表 1)。

CPUE は 25.8 尾/回で、前年の 4.3 尾/回を上回りましたが、2012 年以降低い値で推移しています (図 6)。

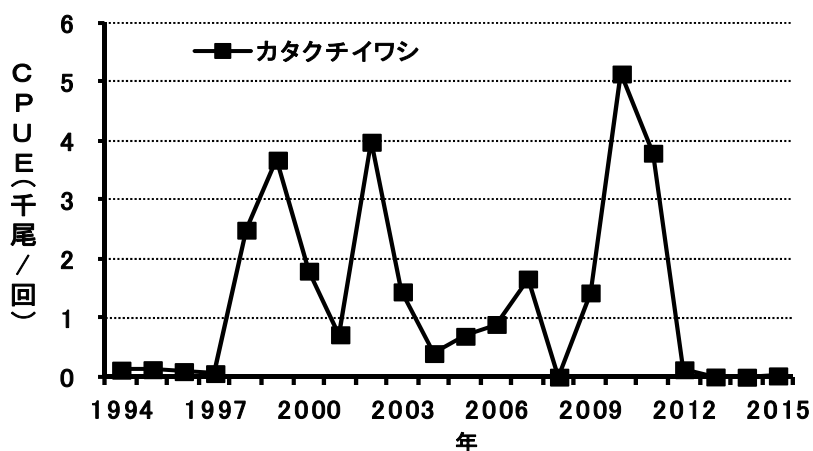


図6 調査1回当たり漁獲尾数 (CPUE) の経年変化

魚体は体長 12.5～15.5cm 台にあり、13.5cm 台の個体が主体で（図 7）、前年（主体：13.0cm 台）よりも大型でした。

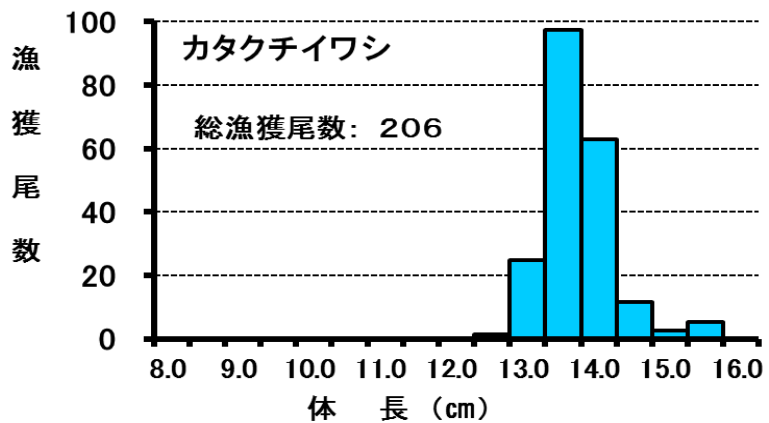


図7 カタクチイワシの漁獲物体長組成

・サンマ

2 調査点で、合計 66 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 8.3 尾／回で、前年の 4.1 尾／回を上回りました。2012 年以降低い値で推移しています（図 8）。

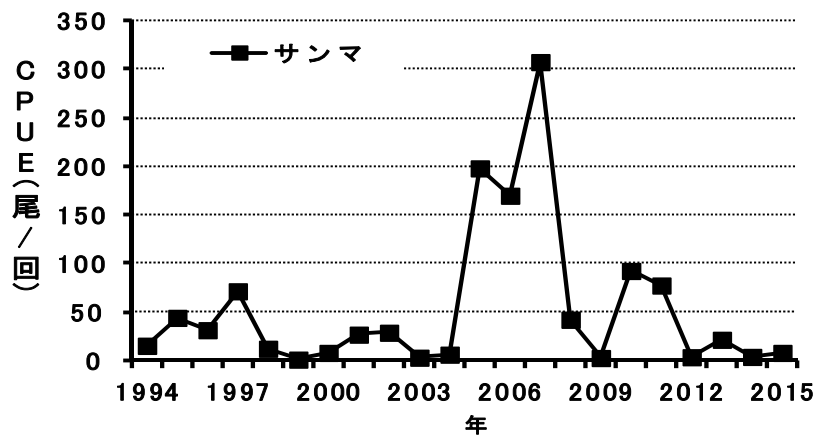


図8 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化

魚体は肉体長 27～30cm 台で、29cm 台の個体が主体でした（図 9）。前年（主体 29cm）と同様でした。

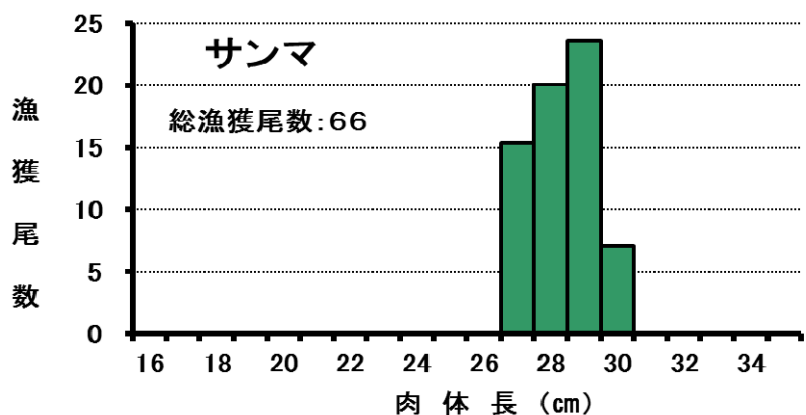


図9 サンマの漁獲物肉体長組成

◎ 7 月 29～30 日に、独立行政法人中央水産研究所（横浜市金沢区福浦）で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

（道総研 釧路水産試験場 調査研究部

直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225）